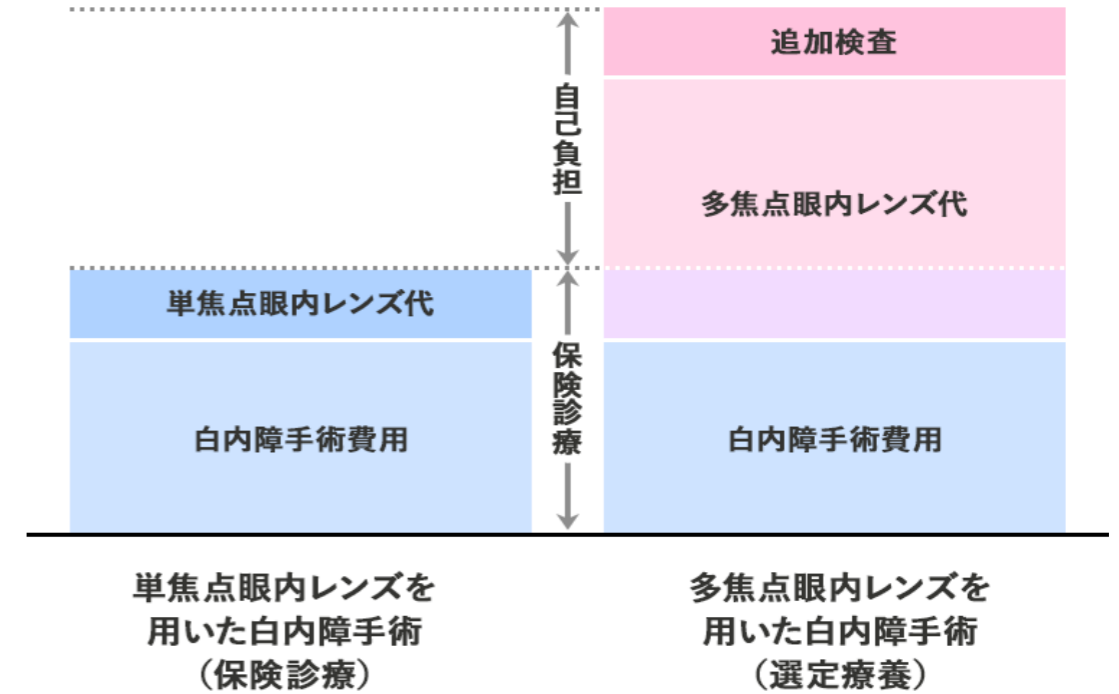


選定療養とは？

選定療養とは、追加費用を負担することで、保険適用外の治療を保険適用の治療と併せて受けることができる制度です。

この選定療養という枠組みで多焦点眼内レンズを用いた白内障手術が行えるようになりました。

手術自体は通常の単焦点眼内レンズと変わらず保険適応、多焦点眼内レンズを選択することで増えるレンズの差額のみを自費で追加費用をお支払いいただくことで、従来全額自己負担であった多焦点眼内レンズの手術の費用負担を軽減した形で手術を受けられるようになりました。



見え方の違い

単焦点レンズ



2焦点レンズ



3焦点自然視覚レンズ



通常の白内障手術（単焦点眼内レンズ）はピントが合うのは1点ですので、遠くもしくは近くを選択します。（画像は遠くに焦点を合わせたイメージ。）多焦点眼内レンズは、眼の状態やライフスタイルによって「遠くと近く」「遠くと中間」、「遠くと中間と近く」に焦点を合わせるレンズがあり、眼鏡のわずらわしさから解放されることが可能です。

選定療養の費用	2焦点眼内レンズ(片眼)		3焦点眼内レンズ(片眼)	
	TECNIS symfony(乱視なし)	¥198,000	PanOptix(乱視なし)	¥275,000
	TECNIS symfony(乱視あり)	¥242,000	PanOptix(乱視あり)	¥330,000
	TECNIS multifocal(ワンピース)	¥198,000	連続焦点型眼内レンズ(片眼)	
	TECNIS multifocal(アクリル)	¥198,000	Synergy(乱視なし)	¥275,000
			Synergy(乱視あり)	¥333,000

* 保険支払い対象分は負担割合にあわせて別途必要。